

平成25年度及び26年度進行管理・評価シート
名古屋市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 名古屋城本丸御殿の復元	3
2 名古屋城西南隅櫓の半解体修理	4
3 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備	5
4 名古屋城二之丸庭園の整備	6
5 名古屋城石垣の整備	7
6 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用	8
7 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営	9
8 文化のみち榎木館の管理運営	10
9 名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁舎の歴史的価値の維持向上	11
10 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)	12
11 「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)	13
12 本町城下町歴史案内板等整備事業	14
13 世界の金シャチ横丁(仮称)構想の推進	15
14 歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)	16
15 歴史的町並み保存事業(四間道地区)	17
16 建中寺前無電中化事業(市道 平田黒門町線 無電柱化事業)	18
17 徳川園の管理運営	19
18 蓬左文庫の保存と公開活用	20
19 堀川の総合整備	21
20 尾張名所図会看板の整備	22
21 「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)	23
22 中川運河の再生	24
23 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)	25
24 史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業	26
25 歴史的建造物の登録・認定	27
26 なごや歴まちびとの派遣	28
27 文化のみちの推進	29
28 「歴史の里」整備事業(公開活用事業)	30
29 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業	31
30 まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援	32
31 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	33
32 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理	34
33 郷土ゆかりの文学資料室	35
34 水上交通ネットワークの検討	36
35 「ものづくり文化の道」推進事業	37
36 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業	38
37 熱田区役所における歴史資料展示	39
38 名古屋まつり	40

39 山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 ……	41
40 伝統産業若手育成事業助成 ……	42
41 伝統産業新商品開発事業助成 ……	43
42 伝統産業製品PR事業助成 ……	44
43 名古屋市民芸術祭 ……	45
44 なごや子どものための巡回劇場 ……	46
45 名古屋市芸術文化団体活動助成 ……	47
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど ……	48
2 文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など ……	49
3 防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等)文化財防火デー等の防災訓練の取組 ……	50
4 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援(保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等 ……	51
5 埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画) ……	52
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) ……	53
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4) ……	54

評価軸①
組織体制

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
計画の実施・推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

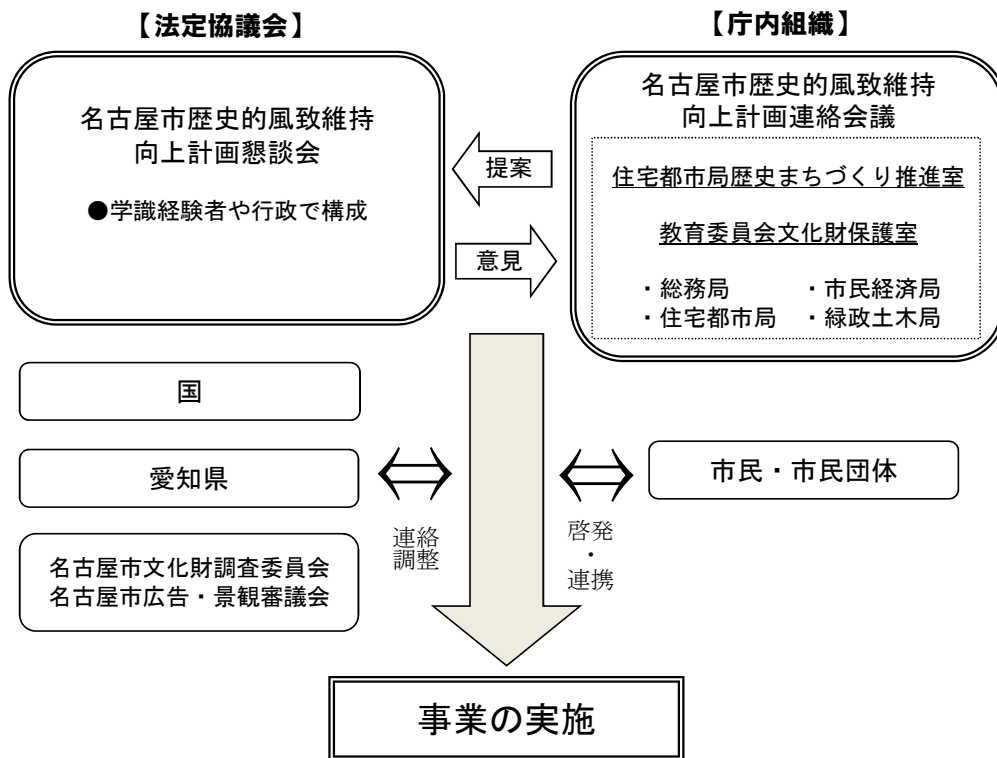
計画に記載している内容
まちづくり担当部局である住宅都市局歴史まちづくり推進室、文化財保護担当部局の教育委員会文化財保護室を中心とした庁内組織である「名古屋市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画の認定に伴い、「名古屋市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」を新たに設置した。平成27年5月27日に「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」を開催。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



計画の推進体制



平成27年5月27日
名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会の様子

評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成25年度及び26年度
景観計画		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 都市景観形成地区における良好な景観形成、景観上重要な建造物等についての保全(景観重要建造物・景観重要樹木・都市景観重要建築物等)、屋外広告物の規制

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築・増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、良好な景観形成に努めた。

- ・都市景観形成地区における届出件数 [平成25年度] 458件 [平成26年度] 425件
- ・都市景観重要建築物への助成 [平成25年度] 1件 [平成26年度] 2件(重点区域内1件)
- ・屋外広告物許可 [平成25年度] 10,162件 [平成26年度] 9,708件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○都市景観重要建築物の外壁補修工事に対する助成

【施工前】



外壁漆喰の浮き、ひび割れ、剥離



【施工後】



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
名古屋城本丸御殿の復元		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 近世城郭御殿の最高傑作でありながら昭和20年の戦災で焼失した名古屋城本丸御殿を、実測図等により、史実に忠実に復元する。また、復元過程を公開することにより伝統の知恵と技を学ぶ機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、玄関・表書院等復元工事の第1期部分(約1,000㎡)の公開を開始し、第2期部分(対面所等)の復元工事を実施した。
 平成26年度は、第2期部分(対面所等)及び第3期部分(上洛殿等)の復元工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【平成25年5月29日から一般公開を開始した玄関・表書院】



玄関・車寄(外観)



玄関一之間(床・違棚)



表書院一之間から上段之間を望む

【平成26年度 復元工事状況】



素屋根見学通路東側から

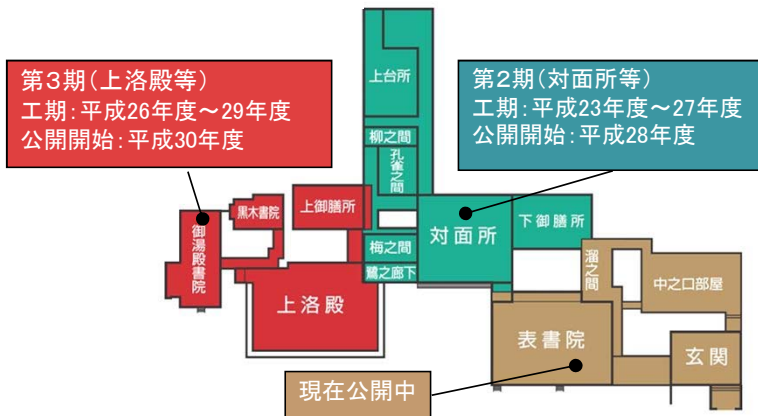


素屋根見学通路北側から



素屋根内部見学通路

【今後の復元工事スケジュール】



【工事現場見学会・匠体験】



平成26年11月1日実施

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
名古屋城西南隅櫓の半解体修理	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～平成26年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 重要文化財である名古屋城西南隅櫓の半解体修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、平成22年度に着手した柱や梁などの主要構造部を残し屋根や壁などを解体する半解体工法での保存修理工事を引き続き行った。修理方針について文化庁と協議した結果、沈下している基礎を撤去し、新しい基礎を施工した上でモルタル壁は創建時の土壁漆喰塗に変更するなど建立当初の姿に復すこととした。平成26年度も引き続き工事を行い、10月末に完了した。また、特別公開を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	工事期間中の平成26年度に工事見学会を行うとともに、工事完了後に特別公開を行った。

状況を示す写真や資料等



工事着手前



工事完了後



素屋根設置状況



工事見学会開催

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城本丸御殿障壁画をはじめとした名古屋城の重要文化財等を積極的に市民に公開するための展示・収蔵施設の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度に名古屋城重要文化財展示収蔵施設整備構想を策定した。
平成26年度に展示収蔵施設予定地の埋蔵文化財発掘調査を行った。

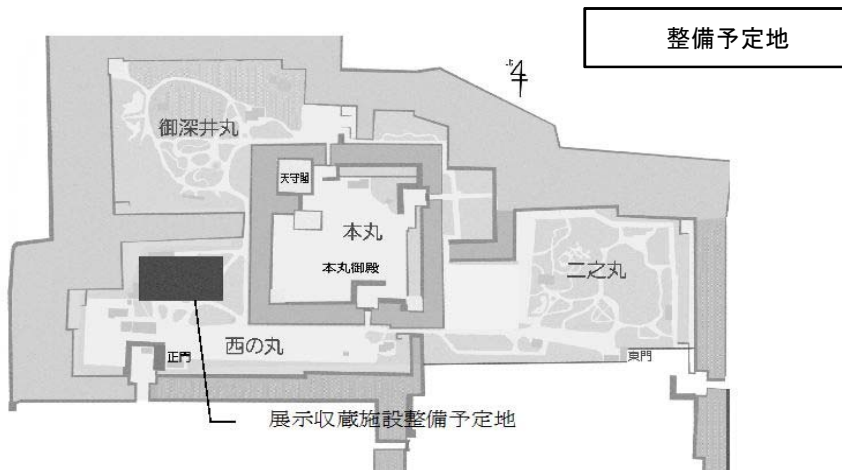
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

展示収蔵施設の位置・大きさ・外観は、かつてあった米蔵を基本とする。

状況を示す写真や資料等



イメージ図(平成25年度整備構想)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目		現在の状況
名古屋城二之丸庭園の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～	
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備費	
計画に記載している内容	名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画に基づき、庭園の本格的な保存整備に取り組む。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
25・26年度に、石組の崩壊を招いている又は招く樹木の伐採、26年度には、明治期に削平された権現山の盛土復元並びに笹巻山の崩壊した石組の修理を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修復整備するに際しては、発掘調査やその解明及び史資料調査の十分な検討並びに文化庁と密に調整する必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



修理された石組(笹巻山)



復元された権現山

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
名古屋城石垣の整備	平成25年度及び26年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和50年度～

支援事業名 地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業

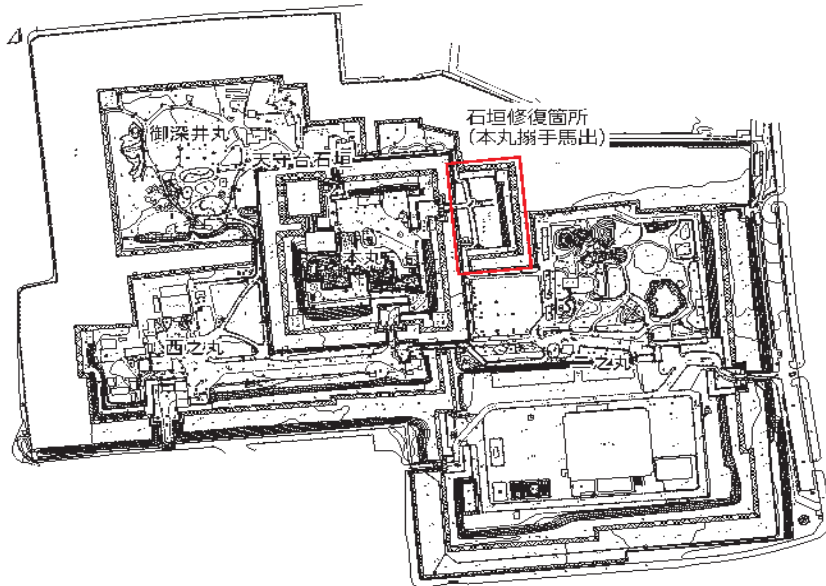
計画に記載している内容 特別史跡名古屋城跡の重要な要素である名古屋城石垣について、修復工事等を実施し、歴史的景観を保全している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大きな孕みがみられた本丸搦手馬出周辺石垣について平成14年度から継続して修復工事を行っている。
 平成25年度まで：石垣の取り外し及び調査を実施
 平成26年度：根石の調査を実施中。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会に諮って課題等に対応している。

状況を示す写真や資料等



石垣整備箇所(本丸搦手馬出)



本丸搦手馬出周辺石垣(北東から)



石垣修復現場見学会の様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度及び26年度
	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用

事業期間 平成元年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」を市の公文書館である「名古屋市市政資料館」として活用し、市政・司法・建物に関する資料の展示等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

常設展示のほか、9回の企画展(25年度5回、26年度4回)及びミニコンサートなどのイベントを開催した。

- 平成25年度入館者 75,335人
- 平成26年度入館者 70,917人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

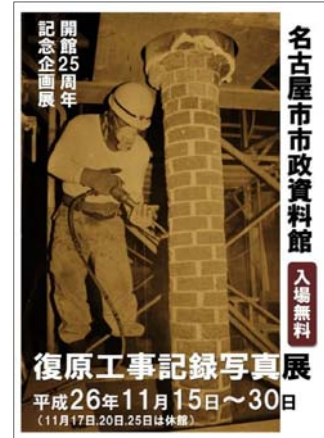
状況を示す写真や資料等

●企画展

「緑区制50周年記念 緑区50年のあゆみ」展	平成25年5月8日～6月7日	入館者 5,830名(緑区役所共催)
「夏休み子ども向け企画展 名古屋市のうつりかわり」	平成25年7月20日～8月31日	入館者 7,615名
「名古屋まつりポスター展」	平成25年9月15日～10月21日	入館者 7,386名
「名古屋市役所本庁舎～戦火に耐えた80年展～」	平成25年9月6日～10月20日	入館者 5,531名
「北区制70周年記念 北区のあゆみとまちづくり展」	平成26年2月7日～3月6日	入館者 5,416名(北区役所共催)
「なごやの水道のあゆみ」	平成26年6月6日～6月29日	入館者 4,024名(上下水道局共催)
「夏休み子ども向け企画展 名古屋市のうつりかわり」	平成26年7月19日～8月31日	入館者 7,614名
「名古屋まつりポスター展」	平成26年9月20日～10月19日	入館者 5,753名
開館25周年記念企画展 「漆喰鏝絵の世界」復元工事記録写真展	平成26年11月15日～11月30日	入館者 3,711名

●主なイベント

「秋の歌声コンサート」	平成25年9月28日	入館者 458名
「歩こう!文化のみち」	平成25年11月3日、平成26年11月3日	入館者 H25…2,040名、H26…1,683名
「オータムコンサート」	平成25年10月26日、平成26年11月8日	入館者 H25…419名、H26…556名
「スプリングコンサート」	平成26年3月15日	入館者 2,032名



「歩こう!文化のみち」市立桜台高校ファッションショー



「オータムコンサート」市立菊里高校音楽科



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成16年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物である文化のみち二葉館の保存・活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

川上貞奴が居住した建物を創建当時の姿に移築復元し、文化のみちの拠点施設として平成17年2月8日より一般公開している。文化のみちの情報発信、川上貞奴に関する資料・郷土ゆかりの文学資料の展示、そして企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。

【定量的評価】

25年度 入館者数33,485 貸室稼働率28% 利用者満足度100%

26年度 入館者数35,942 貸室稼働率30% 利用者満足度100%

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ビデオ上映
「文化のみち全体の紹介映像」



常設展示
「当時の暮らし(室内イメージの再現)」



常設展示
「郷土ゆかりの文学資料展示」(城山三郎書斎の再現)」



企画事業
「百人甚句」
平成26年12月14日



企画事業
「川上貞奴 秋冬愛蔵品展」
平成27年2月8日～2月14日

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
文化のみち榿木館の管理運営	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物である文化のみち榿木館の保存・活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物である文化のみち榿木館を平成21年7月17日から一般公開している。
 文化のみちの歴史などに関する展示や、企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。

【定量的評価】

25年度 入館者数15,292 貸室稼働率50% 利用者満足度96%
 26年度 入館者数16,619 貸室稼働率48% 利用者満足度97%

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



常設展示
 「文化のみち」における近代建築物の保存と活用



企画事業
 講演会「榿木館とスペイン瓦」
 平成26年1月13日



企画事業
 伊勢型紙で彫る『日本の世界遺産』展
 平成26年10月11日～19日



企画事業
 「曆十二月月」小町の名古屋友禅・組紐展
 平成26年11月19日～30日

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
名古屋市役所本庁舎及び愛知県本庁舎の歴史的価値の維持向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成35年度		
支援事業名	市単独事業 ※名古屋市分のみ		
計画に記載している内容	名古屋市役所本庁舎と愛知県庁本庁舎の並立する景観と両者の歴史的価値の維持向上を図るとともに、庁舎の公開等を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
名古屋市役所本庁舎の歴史や魅力を広く市民に伝えていくため、平成19年度から実施している庁舎開放イベント(11月3日)を実施するとともに、小中学校の社会見学などの団体向け庁舎見学の受け入れを行った。また、平成26年度は新たな取り組みとして閉庁日のガイドツアーを行った。 なお、平成26年12月には隣接する愛知県庁本庁舎とともに国の重要文化財(建造物)に指定された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●庁舎開放イベント実施結果

開催日 : 平成26年11月3日(祝・月)
 開催時間: 午前9時30分～午後4時00分
 入場者数: 7,100人

(参考)過去3年間の入場者数

平成23年度	3,600人
平成24年度	3,400人
平成25年度	6,600人



●庁舎開放イベントの様子

●庁舎見学の受け入れ実績

平成26年度	16団体(333名)
--------	------------

※平成27年1月31日現在

(参考)過去3年間の受け入れ実績

平成23年度	14団体(128名)
平成24年度	27団体(701名)
平成25年度	52団体(758名)



●ガイドツアーの様子

●ガイドツアー実施結果

開催日 : 平成27年1月25日(日)
 開催時間: ①午前10時30分～
 ②午後1時00分～
 参加者数: 96名
 ※応募総数162通、当選数66通

★重要文化財指定の概要

指定日 : 平成26年12月10日
 指定基準: 意匠的に優秀なもの



●重文指定記者会見の様子

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目

現在の状況

栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 日本初の集約電波塔であり、登録有形文化財でもある名古屋テレビ塔について、都心の重要な観光施設として活用していくための方策を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年6月20日にテレビ塔開業60周年を迎え、その記念事業として、新しいライティングを実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



栄地区の景観に新しい表情を与えている

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化財保存事業費関係国庫補助

計画に記載している内容 守山区上志段味地区に残る志段味古墳群の保存・活用のため、一部の古墳の復元整備を行うとともに、各種施設を適宜整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

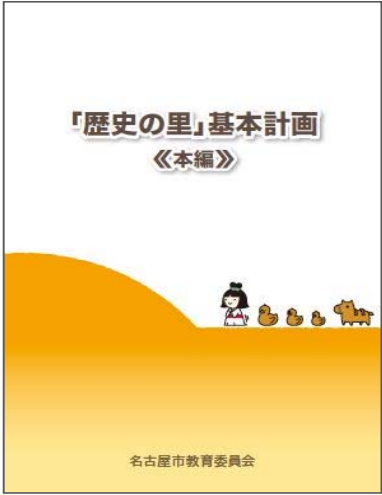
平成26年3月に策定した「歴史の里」基本計画に基づき、古墳や緑地整備の実施設計を行うとともに、古墳の保存管理計画を策定。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

実施設計検討会議開催状況
 第1回 平成26年8月11日
 第2回 平成26年9月17日
 第3回 平成26年11月13日
 第4回 平成27年3月13日

保存管理計画検討会議開催状況
 第1回 平成26年8月11日
 第2回 平成26年10月16日
 第3回 平成26年11月13日



「歴史の里」基本計画(平成26年3月)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度 現在の状況
本町城下町歴史案内板等整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城本丸御殿の復元にあわせ、歴史案内板の設置、スマートフォンと連携した情報提供等、本町通周辺の環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

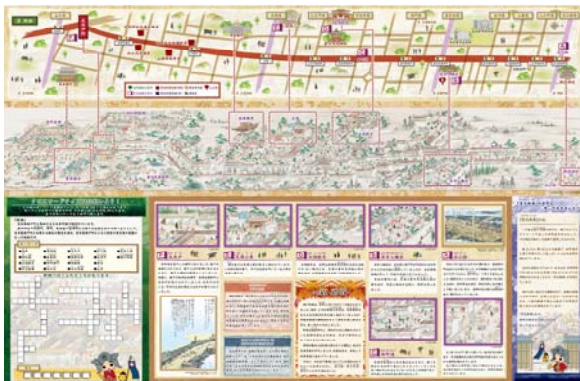
城下町の町割りの中心軸であるとともに、城下町と宮の宿とを結ぶ道として重要な役割を担ってきた「本町通」に関する歴史散策マップを作成した。
 城下町の歴史を楽しみながら知ってもらうために、散策マップを活用したクイズラリー形式の町歩きイベントを実施した。(参加者数:500名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



歴史散策マップ



町歩きイベント当日の様子

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
世界の金シャチ横丁(仮称)構想の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 開府以降400年間に培ってきた名古屋の文化(歴史、生活、産業技術)と、それを支えてきた人のつながりや時代のつながりをじっくり「見て」「知って」「体感・体験」できる空間づくりを目指す。

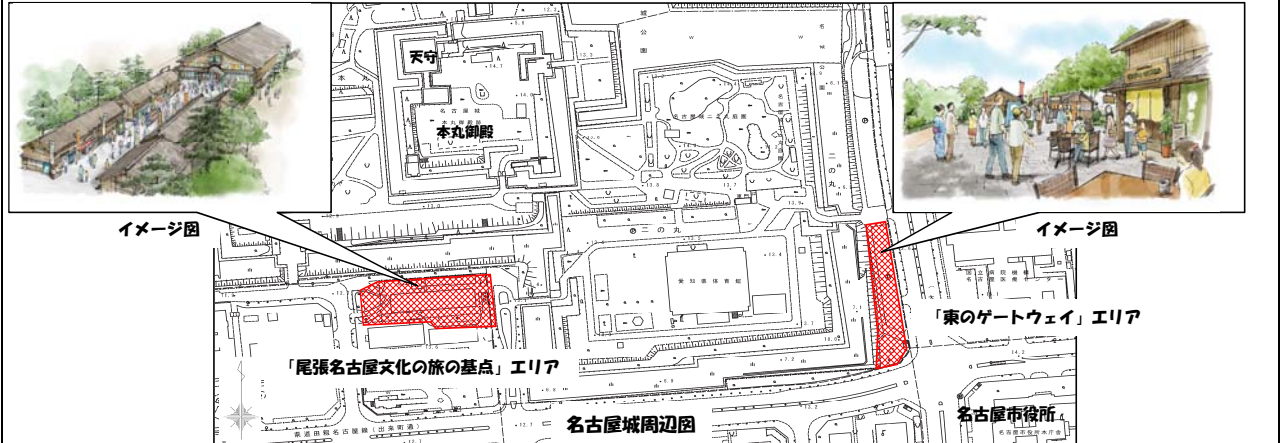
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度…平成24年度に策定した「世界の金シャチ横丁(仮称)基本構想」の実現に向けて、飲食・物販施設、芝居小屋等の多目的空間及び展示施設の検討、事業スキームの検討、事業収支調査等の調査を実施した。名称についても公募を実施し、「金シャチ横丁」に決定した。また、その実現のため、整備候補地にて埋蔵文化財の試掘調査を行った。
 平成26年度…昨年度実施した試掘調査に引き続き、埋蔵文化財の発掘調査を実施した。また、金シャチ横丁構想の実現に向けて、民間事業者を対象にした「事業説明会」を実施し、整備候補地にて仮設ではあるが将来の「金シャチ横丁」をイメージした社会実験を土日祝日5日間にわたり実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

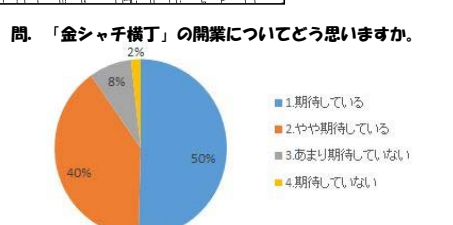
状況を示す写真や資料等



「金シャチ横丁における事業説明会」
平成26年8月12日に開催
 金シャチ横丁構想の実現に向けて、公募前の準備段階で、民間事業者から直接意見を聴く場を設けて、民間事業者が参入しやすい公募の条件設定の参考にするなどを目的として開催した。
 多業種の民間事業者 66社・120名の方に参加頂き、金シャチ横丁構想の概要、本市の考え方を説明の上、参加者からの意見や質問を伺った。



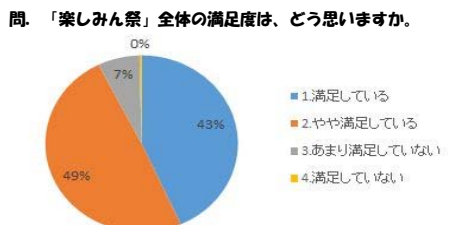
説明会の様子



「名古屋城 楽しみん祭」
平成26年11月15.16.22.23.24日(5日間)に開催
 今回の「名古屋 城楽しみん祭」は、一時的な仮設での取り組みではあるが、将来の「金シャチ横丁」をイメージした社会実験として「尾張名古屋文化の旅の起点」エリアにて実施した。



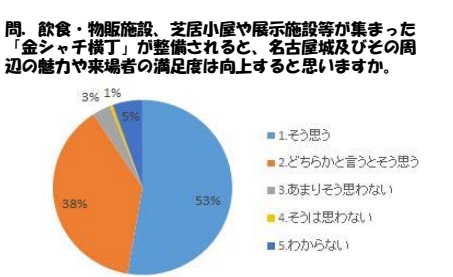
芝居公演



開催内容は、ステージイベントや名古屋みやげ物の販売、ご当地グルメを提供するキッチンカーのほか、地元の大学生や専門学校生が考えた、新しい名古屋名物を紹介する「NAGOYAみやげ創作展」や「金シャチスイーツの販売」のコーナーを実施した。会場の外では、地元大学生が担ぐ「駕籠の運行」も行った。
 「楽しみん祭」の来場者数は、5日間ともに天気にも恵まれ、33,000人もの方が来場し、地元企業や学生などの多くの方々の出展や協力のおかげで盛況に終えることができた。



ご当地グルメを提供するキッチンカー



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和60年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白壁・主税・榎木地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、この地区の特徴である門塀や緑と調和するサイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的な建造物は修理基準に基づいた工事、伝統的建造物以外の建造物は修景基準に基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。
 平成25年度は1件、平成26年度は1件の助成を行った。
 町並み保存事業は予算の範囲内で実施しているため、他の町並み保存地区と合わせて毎年7～10件程度を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)の実施例



【修理前】



【修理後】

※町並み保存地区の伝統的建造物に指定されている建造物の外壁補修工事。



【修理前】



【修理後】

※町並み保存地区の伝統的建造物に指定されている建造物の屋根の葺き替え工事。

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度及び26年度
		現在の状況	
歴史的町並み保存事業(四間道地区)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	四間道地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、地区の歴史的環境に配慮した道路環境整備を実施するとともに、サイン、案内板、解説板等の整備を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的な建造物は修理基準に基づいた工事、伝統的建造物以外の建造物は修景基準に基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。 平成25年度は3件、平成26年度は1件の助成を行った。 町並み保存事業は予算の範囲内で実施しているため、他の町並み保存地区と合わせて毎年7～10件程度を実施している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

■町並み保存事業(四間道地区)の実施例



【修景前】



【修景後】

※駐車場であった場所に建物の建築に際し、通りに面する部分を町屋風の建物にすることにより、町並みに調和する建物とした。



【修景前】



【修景後】

※町並み保存地区の必要物件に指定されている建造物の屋根の葺き替え工事。

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
建中寺前無電柱化事業(市道 平田黒門町線 無電柱化事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)

計画に記載している内容 天王祭などで山車が曳き出される東区筒井地区において、歴史的建造物である建中寺三門周辺の電柱・電線を地中化することで、祭りの背景となる歴史的建造物周辺の景観を向上させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

電線管理者との協議を進め、電線共同溝の詳細設計を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



現状



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目

現在の状況

徳川園の管理運営

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成16年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史文化拠点として、尾張藩二代藩主光友の隠居地を起源とする徳川園を良好に管理運営し、近世武家文化を国内外に発信していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎年6月に行われる筒井町と出来町の天王祭にあわせて5輦の山車揃えを行い、名古屋城下の華やかな祭りを現代に再現した(平成25年度:6月2日(日)、平成26年度:6月8日(日)実施)。また、平成26年11月3日(祝)に「徳川園・蓬左文庫新装オープン10周年記念式典」をおこない、施設の概要等を周知する講演をおこなった。また、各年度を通して、隣接する蓬左文庫、徳川美術館と調整してバランスのとれた行事の実施にとりくんだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

徳川園 山車揃え



例年通り、山車5輦が徳川園に勢揃いした。好天で、8,000人の観客が集まった(6月8日)。

徳川園・蓬左文庫新装オープン10周年記念式典



徳川園・蓬左文庫の新装オープン10周年を記念して、式典と関連イベントを行った(11月3日)。

徳川園 観月会



お月見だんご、和舟飾りなどで十五夜を鑑賞する観月会を行った(9/9十五夜)。

徳川園 紅葉祭



夜間開園をし、紅葉をライトアップした。園路を照らす行灯などを配置した(11/21～30)。

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成25年度及び26年度
項目		現在の状況
蓬左文庫の保存と公開活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成16年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	尾張徳川家に伝来した貴重な書籍や絵図類が収蔵・展示されている蓬左文庫の保存と公開活用を積極的に進めている。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
古典籍文庫としての閲覧公開活動を重視しつつ、徳川美術館と連携し尾張徳川家の大名文化を分かりやすく紹介する展示、催事についても積極的に実施した。 特に今年は徳川園とともに新装オープン10周年を記念した展示にも積極的に取り組み、催事についても規模を拡大して実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
閲覧室 閲覧室利用者数 1,393人 閲覧件数 1,253件(市内 669件 県内 272件 県外 312件) 閲覧冊数 6,549冊 参考質問 338件 展覧会 特別展 平成26年4月12日(土)～5月25日(日) 春期特別展 ① 歿後250年記念「徳川宗春」観覧者数 22,918人 (1日平均 588人) 平成26年10月4日(土)～11月9日(日) 秋季特別展「復古やまと絵 新たなる王朝美の世界ー訥言・一蕙・為恭・清ー」観覧者数 21,959人 (1日平均 686人) 企画展 平成26年 5月31日(土)～7月13日(日) 「尾張徳川家の若君・姫君」展示室1 「名古屋まつりと山車揃え」展示室 観覧者数 18,075人 (1日平均 476人) 平成26年 7月16日(水)～8月31日(日) 蓬左文庫・徳川園新装オープン10周年記念 「大曾根御殿と徳川光友」展示室1・2 観覧者数 24,065人 (1日平均 587人) 平成26年 9月 3日(水)～9月28日(日) 「墨ー黒の世界ー」展示室1「第一次長州征伐と尾張藩」展示室2 観覧者数 13,935人 (1日平均 606人) 平成26年11月15日(土)～12月14日(日) 蓬左文庫・徳川園新装オープン10周年記念 「古典文学の世界 大名文化と古典」展示室1・2 観覧者数 16,687人 (1日平均 642人) 平成27年 1月 4日(日)～2月 8日(日) (未集計) 「飾り金具」源氏物語の世界①」展示室1「江戸時代の名古屋をさぐるー城・まち・ひとー」展示室2 平成27年 2月11日(水・祝)～4月 5日(日) (開催中) 「ひなの世界」源氏物語の世界②」展示室1「江戸時代の名古屋をさぐるー城・まち・ひとー」展示室2 催 事 4月6日 第9回 桜・二胡コンサート2014 1,350人 6月8日 山車揃えポスター・うちわ展示 719人 6月8日 徳川園山車揃え 8,000人 10月23日、11月23日・24日 文化財特別公開 1,603人 10月28日～11月3日 蓬左文庫「古書市」973人 11月3日 歩こう!文化のみちスタンプラリー 619人 11月3日 尾張万歳公演と東区のからくり・お囃子競演 1,000人 11月16日・29日 文化財ガイドツアー(文化のみちコース) 77人 11月21日 文化財ガイドツアー(東寺町コース) 41人 2月8日～3月15日 雛巡りスタンプラリー・かわいい郷土玩具の雛たち 開催中 講座・講演会等 5月3日 記念講演会「宗春が目指したもの」210人 5月17日 土曜講座「徳川宗春の文化政策」95人 7月19日 記念講演会「大名庭園の世界」88人 9月13日 土曜講座「長州征伐と尾張藩」89人 9月17日・10月1日・8日 地域ガイドボランティア育成講習会 122人 11月1日 古典の日記念 朗読で聞く「竹取物語」100人 1月24日・29日、2月5日 蓬左文庫講座「名古屋城下のまちと人をさぐる」188人 3月22日 国「登録有形文化財(建造物)」登録報告会 実施予定		

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目

現在の状況

堀川の総合整備

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 昭和61年度～

支援事業名 防災・安全交付金(流域治水対策河川事業)

計画に記載している内容 堀川では堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備を進めているが、堀川とその周辺の歴史・文化資源、まちづくり、市民団体の活動など、堀川をとりまく様々な資産を活かし、周辺のまちづくりを考慮した河川整備に引き続き取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備として、護岸整備および河道掘削を実施。

平成25、26年度 護岸整備延長 約1.2km

平成25、26年度 河道掘削量 約8000m³

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【護岸整備】



整備前



整備後



護岸整備状況写真

【河道掘削】



河道掘削状況写真

評価軸③-20 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
尾張名所図会看板の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民の歴史に関する関心を高めるとともに、地域の歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した「尾張名所図会」を、その描かれた場所付近に看板として設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾張名所図会の看板を描かれた場所付近に設置した。
 【設置基数】 24年度…2基、26年度…2基

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○設置実績

年度	基数	尾張名所図会内容
H24	2	断夫山、夜寒里古覧
H26	2	法持寺、本遠寺
合計	4	

○設置状況



夜寒里古



断夫山



法持寺



本遠寺

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化財保存事業費関係国庫補助		
計画に記載している内容	各拠点地区や周辺施設を結ぶネットワークルートを設定し、「歴史の里」全体の案内版やサイン、古墳の説明板等のネットワーク化のために必要な設備を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
勝手塚古墳地区、大塚・大久手古墳群地区、白鳥塚古墳地区、東谷山白鳥古墳地区、東谷山山頂3古墳地区の5地区を設定し、ネットワークルートとして志段味古墳群散策路マップを作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

下図「志段味古墳群散策路マップ」を作成し、東西エリア計2コースを設定した。



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
中川運河の再生		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～(堀止緑地の整備は平成28年度までを予定)

支援事業名 防災・安全交付金(港湾改修事業、緑地等施設整備事業)※堀止緑地の整備について

計画に記載している内容 名古屋の暮らしとモノづくりの発展を下支えしてきた中川運河において、堀止緑地の整備や護岸改修、松重閘門の再生などに取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・堀止緑地の整備
平成25年度 護岸工事(約160m)、造成工事 / 平成26年度 護岸工事(約90m)、実施設計(緑地)
- ・護岸改修
平成25年度 護岸改良工事(約30m)、土質調査 / 平成26年度 実施設計

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【堀止緑地の整備】



【護岸改修】

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大胆な戦災復興計画により形成された久屋大通公園において、都心のシンボル空間にふさわしい公共空間の整備や、沿道との一体化を図る空間形成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年6月に策定した「栄地区ランドビジョン」に基づき、平成26年度は久屋大通の北・テレビ塔エリア(錦通以北)において、
 ・公共空間を活用した社会実験(11月～12月、来場者推定6万5千人、平成27年度も引き続き実施予定)
 ・事業計画の検討を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【社会実験の実施状況】



東西を連絡する道路の車両通行止め



車両通行止め部分をイベント空間として活用



臨時のカフェを設置



公園内でマーケットイベントを実施



公園一部に企業協賛による花壇を設置



駐車場をイベント空間として活用

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和39年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡名勝標札、史跡散策路案内板などの設置事業を行うとともに、こうした歴史関係の案内板を活用し、より身近な歴史に親しむ環境を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡や名勝などの所在地にその由緒などを案内する標札として「史跡名勝標札」を市内に設置しており、平成25年度には新規で5基を設置(現在市内設置300基)し、また標札の補修等を21件実施した。平成26年度は15件の補修等を実施した。
 また、各史跡等を連絡させた散策路コースを設定し、市内80コース(1区あたり3～6コース)の各起点にイラストでコース全体や史跡を紹介した「史跡散策路」案内板を設置、コース途中には誘導標識を設置し、文化財保護意識の普及啓発やウォーキングイベント等での活用を行っており、平成25年度には39件、平成26年度は現時点で5件の補修等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「史跡名勝標札」新設の写真(施工前と施工後)

「史跡・名勝標札」(平成25年度)の新設

「西志賀遺跡」の標札 ※新設



【施工前】



【施工後】

「史跡散策路」の看板内容の修正変更写真(施工前と施工後)



施工前



施工後

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物の登録・認定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋市都市景観条例に基づき、市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定するとともに、その保存活用に向けた技術的支援、経済的支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定し、登録資産は平成25年度37件、平成26年度8件の計138件、認定資産は平成25年度6件、平成26年度4件の計61件となった。
 登録・認定資産の所有者に対する技術的支援として、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を、平成25年度2件、平成26年度3件実施した。
 認定資産の所有者に対する経済的支援として、改修工事費用の助成を、平成25年度4件、平成26年度3件実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■登録及び認定件数

年度	登録	認定	合計
H23	50	35	85
H24	43	16	59
H25	37	6	43
H26	8	4	12
合計	138	61	199

■技術的支援の実績件数

年度	件数
H23	3
H24	2
H25	2
H26	3
合計	10

■経済的支援の実績件数

年度	件数
H23	2
H24	1
H25	4
H26	3
合計	10



認定地域建造物資産
第58号



認定地域建造物資産
第59号



認定地域建造物資産
第60号



認定地域建造物資産
第61号

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目

現在の状況

なごや歴まちびとの派遣

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域建造物資産に登録・認定された歴史的建造物の所有者からの申請に基づき、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)が保存・活用に関する技術的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録地域建造物資産等の歴史的建造物の所有者に対して、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を行った。

【派遣件数】平成25年度:6件
平成26年度:5件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■派遣実績

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
合計	26



派遣の様子

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目

現在の状況

文化のみちの推進

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成11年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」エリアにおいて、拠点施設の管理運営、歴史的建造物の保存・活用を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの各種イベントを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化のみち施設(文化のみち二葉館・文化のみち榎木館・旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸)の活用・管理を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの歴史的建造物を活用したイベントを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【文化のみち施設】



文化のみち二葉館



文化のみち榎木館



旧豊田佐助邸



旧春田鉄次郎邸

【実施イベント】



「第15回歩こう！文化のみち」
平成26年11月3日

評価軸③-28

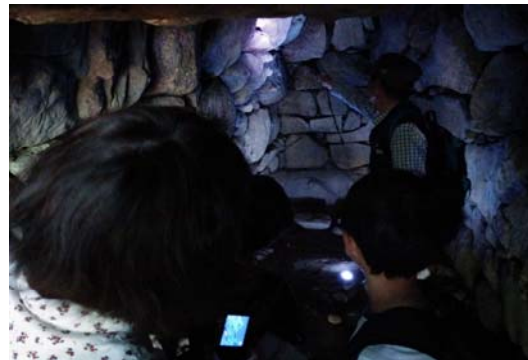
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
「歴史の里」整備事業(公開活用事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成30年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係国庫補助		
計画に記載している内容	ウォーキングイベント、ものづくりや宿泊など各種体験学習講座、地元の祭りや連携した古墳まつりなどのソフト事業を展開する。また、古墳や自然を紹介するガイドボランティアを要請し活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ソフト事業については各拠点地区をめぐる古墳見学、古代生活体験(日帰り・宿泊)、近隣施設と連携した体験学習講座等を実施した。ガイドボランティアについては拡充に向け養成講座を開催し新規会員を募集したほか、各種ソフト事業において活用した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



古墳見学



古墳見学



埴輪作り体験



火起こし体験

項目	現在の状況
指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和47年度～

支援事業名 市単独事業 ※国・愛知県指定文化財は、文化財保存事業費関係国庫補助・愛知県文化財保存事業

計画に記載している内容 指定文化財であるお寺、神社、個人住宅などの歴史的建造物や史跡・名勝といった地域の歴史遺産の保存修理や管理に要する経費について、補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名古屋市指定の歴史的建造物について補助金を交付し、保存修理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

建中寺本堂屋根



軒先瓦点検



補足瓦 軒巴



建中寺本堂屋根



評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目		現在の状況
まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	地域で活動する多様な主体(住民、自治会、NPO、商店街、企業、行政等)が集まり、まちの将来像を話し合うまちづくり協議会等を設置し、その実現に向けた方針をまとめたまちづくり構想を作成したり、地域の魅力向上や課題対応などの取り組みを主体的にすすめていく、地域まちづくりを支援していく。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
以下の支援を行い、まちづくり構想づくりとその実践を推進している。 H25サポート制度活用団体 10団体 H26サポート制度活用団体 13団体 また、H25年度以降に新たに2地区で行政発意型のまちづくり協議会が設立された。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



《四間道・那古野界限まちづくり協議会》
歴史的な町並みが残るエリアにおいて、魅力や課題についての現地調査を実施



《荒子の里協議会》
地区の歴史資産を歩いて回るウォーキングイベントを開催



《ふるさと徳重まちづくり会》H26設立
地区の魅力や課題を整理し、めざすまちの将来像やまちづくりの方針を検討する会議を開催



《御劔地区防災まちづくり協議会》H25設立
地区の魅力や課題を再発見するためのまち歩きを実施

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成25年度及び26年度

項目	現在の状況
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成4年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国の重要文化財に指定されている名古屋城本丸御殿障壁画等を参考に、400年前の鮮やかな色を蘇らせるべく、描かれた当時の状態を再現する「復元模写」を制作し、本丸御殿復元時に御殿内に取り付けて展示する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、上洛殿上段之間の床壁貼付絵や襖絵、天井板絵など33面を制作した。
 平成26年度は、上洛殿西入側の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など38面を制作した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【平成25年度 制作画面(一部)】



上洛殿上段之間襖絵



対面所二之間壁貼付絵



上洛殿上段之間天井板

【平成26年度 制作画面(一部)】



上洛殿西入側壁貼付絵・襖



上洛殿二之間襖絵



上洛殿上段之間天井板絵

評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
名古屋城本丸御殿障壁画保存修理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城本丸御殿障壁画について、絵の具の剥落、虫害、下地の傷みなど損傷を生じているものを順次修理し、保存・継承を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、上洛殿の天井板絵30面の保存修理を行った。 平成26年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>【平成25年度 修理画面(一部)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>上洛殿上段之間天井板絵</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>上洛殿一之間天井板絵</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>上洛殿入側天井板絵</p> </div> </div> <p>【平成26年度 修理画面(一部)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>上洛殿一之間天井板絵</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>上洛殿入側天井板絵</p> </div> </div>			

評価軸③-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
郷土ゆかりの文学資料室		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 郷土ゆかりの文学資料が時代とともに散逸することを防ぐため、文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)の一部を活用して、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことにより、市民文化の振興に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 市民や文学関係者が保有する文学資料について、その保存状態や歴史的価値を調査した。
 <平成25年度>春日井建氏遺贈資料(710点)、岡井隆氏寄贈資料(2,123点)
 <平成26年度>阿久根治子氏遺贈資料(716点)、浅野梨郷氏遺贈資料(179点)
- 収蔵資料や折々のテーマに基づいた企画展及び関連催事の開催
 <平成25年度>新美南吉展、吉田知子展
 <平成26年度>春日井建展、杉浦明平展、城山三郎展

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○文学資料の調査・保存

- <平成25年度>
 - ・春日井建氏資料…書籍、直筆原稿、身辺物品等はじめ710点
 - ・岡井隆氏資料…書籍、直筆原稿等はじめ2,123点
- <平成26年度>
 - ・阿久根治子氏資料…書籍、直筆原稿、写真、音声資料等はじめ716点
 - ・浅野梨郷氏資料…書籍、直筆短冊・色紙、陶磁器、身辺物品等はじめ179点



寄贈された資料

○文学関係企画展

- <平成25年度>
 - ・「新美南吉の世界をたずねて」展 10月8日～11月10日 期間中入場者 4,493名
 - ・「郷土ゆかりの女流文学者 吉田知子」展 2月11日～3月9日 期間中入場者 2,608名
- <平成26年度>
 - ・「春日井建の世界」展 5月20日～6月15日 期間中入場者 2,852名
 - ・「杉浦明平」展 10月15日～11月9日 期間中入場者 4,426名
 - ・「城山コレクション-気骨の作家が遺したもの」展 2月8日～3月8日 期間中入場者 5,443名



企画展の様子

「春日井建の世界」展 チラシ

評価軸③-34

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
水上交通ネットワークの検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。熱田の宮の渡しと桑名の七里の渡しを結ぶ東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民をはじめとする多くの人に乗船機会を提供するため、体験乗船を行った。また、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図るため、水上交通網推進プラットフォームを開催した。

- ・平成25年度 中川運河と堀川宮の渡しを巡る体験乗船及び七里の渡し体験乗船の開催
- ・水上交通網推進プラットフォーム会議の開催(7月、12月、3月)
- ・平成26年度 中川運河体験乗船～船とおおなみ線で巡るリニア・鉄道館への旅～及び七里の渡し体験乗船の開催
- ・水上交通網推進プラットフォーム会議の開催(7月、3月)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- ・水上交通網推進プラットフォーム会議
 - 平成25年 7月19日 第4回水上交通網推進プラットフォーム会議
 - 平成25年12月17日 第5回水上交通網推進プラットフォーム会議
 - 平成26年 3月24日 第6回水上交通網推進プラットフォーム会議
 - 平成26年 7月10日 第7回水上交通網推進プラットフォーム会議
 - 平成27年 3月19日 第8回水上交通網推進プラットフォーム会議
- ・体験乗船
 - 平成25年10月20日 中川運河と堀川宮の渡しを巡る体験乗船
 - 平成25年11月23日 七里の渡し体験乗船
 - 平成26年11月2日, 9日 中川運河体験乗船～船とおおなみ線で巡るリニア・鉄道館への旅～
 - 平成26年11月22日, 23日 七里の渡し体験乗船



【水上交通網推進プラットフォーム会議の様子】



【H26年度中川運河体験乗船】



【H26年度七里の渡し体験乗船】

評価軸③-35

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
「ものづくり文化の道」推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋駅北東に位置する西区の南部地域を「ものづくり文化の道」とし、ものづくりを中心としたこの地域の魅力を産業観光、産業振興、商店街の活性化といった産業面のみならず、歴史的な価値を有する建造物や町並みの保存・活用を図りながら高め、その魅力を地域の内外に発信していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、体験や展示が楽しめる「ものづくり文化の館」を開催した。

開催場所	日 時	体験者数
円頓寺七まつり	平成25年8月3日・4日(土・日) 午後2時30分～午後7時	482名
	平成26年8月2日・3日(土・日) 午後2時30分～午後7時	340名
西区民おまつり広場	平成25年10月13日(日) 午前10時～午後3時	210名
	平成26年10月12日(日) 午前10時～午後3時	470名
mozo ワンダーシティ	平成26年2月15日・16日(土・日) 午前11時～午後6時	227名
	平成27年1月17日(土) 午前11時～午後4時	210名

- 当該地域の魅力のひとつである菓子産業を広く発信する為に「西区も～やっこ菓子まつり」を実施した。

日 時	場 所	来場者数
平成25年10月13日(日) 午前10時～午後3時	庄内緑地	同時開催の「西区民おまつり広場」と合わせて 70,000名
平成26年11月3日(月) 午前10時～午後4時	オアシス21 銀河の広場	28,500名

- 「ものづくり文化の道」に興味をもってもらう為にプロモーションビデオを制作した。

内 容	制作期間	作成団体
伝統技能編	平成25年11月1日～平成26年3月31日	名古屋芸術大学
菓子産業編	平成26年4月1日～平成26年10月31日	名古屋市立大学

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

イベントによってこの地域の盛り上げや魅力の発信を行っているが、経常的にこの地域を訪れて楽しんでもらうものが少ないことが課題である。

状況を示す写真や資料等

ものづくり文化の館



実 演



展 示



体 験

西区も～やっこ お菓子まつり



会場の様子



菓子づくり体験



菓子販売

プロモーションビデオ



伝統技能編撮影風景



菓子産業編撮影風景

評価軸③-36

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 およそ400年前の清州越以来、名古屋の中心で脈々と伝えられてきた中区の魅力を市民グループと協働で発信し、中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成26年10月15日～平成27年1月15日 「碁盤割地区スマホdeまちあるき」を開催。参加者77名
- ・平成26年10月26日(日)に第39回堀川文化講座「名古屋の古地図の見方と楽しみ方」と「おから猫パネルシアター」を開催。参加者150名
- ・平成26年11月9日(日)第19回 堀川文化歩こう会「碁盤割の歴史を探ろう」を開催。参加者32名(申し込み50名)
- ・中区に伝わるわらべうたを区役所2階でビデオ上映し、区役所来庁者に情報提供。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第39回堀川文化講座「名古屋の古地図の見方と楽しみ方」



第19回 堀川文化歩こう会「碁盤割の歴史を探ろう」

評価軸③-37

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目

現在の状況

熱田区役所における歴史資料展示

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 熱田区役所1階に「熱田区歴史資料展示コーナー」を設け、市民から寄贈された歴史資料を展示する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年2回の展示替及び区民まつり、生涯学習まつりでの展示を行いました。
歴史資料の分類整理については、展示替え作業及び区民まつり、生涯学習まつりでの展示と並行して、デジタル化の作業を進めていきました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第10回展示の様子



第11回展示の様子



区民まつりの展示の様子

評価軸③-38

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
名古屋まつり	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和30年度～

支援事業名 市単独事業（名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所を構成員とする名古屋まつり協進会で実施）

計画に記載している内容 昭和30年に戦災復興を祝して始まり、山車揃や郷土英傑行列など名古屋の歴史にちなむ催しも多い名古屋まつりを継続して開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

多くの市民及び本市来訪者等に、市の伝統・文化・魅力に触れ、知っていただくことを目的に名古屋まつりを実施した。また、平成26年度は第60回の節目の年を迎えるため、記念事業を行った。

平成25年(第59回)名古屋まつり(平成25年10月19日(土)・20日(日)を中心に開催)

【主な事業】

- ・郷土英傑行列・山車揃・神楽揃などの豪華絢爛な時代行列を実施
 - ・ご当地武将隊・ご当地アイドルによるステージや、なごやめし・ご当地グルメなどが集合した会場行事を実施
- 【人出】98万人(日曜日が雨天のため、行列行事を中止)

平成26年(第60回)名古屋まつり(平成26年10月17日(金)・18日(土)・19日(日)を中心に開催)

【主な事業】

- ・郷土英傑行列・山車揃・神楽揃などの豪華絢爛な時代行列を実施
 - ・60回記念事業として、日曜日の行列では愛知県警察・陸上自衛隊・名古屋市消防音楽隊が行列の先頭を飾り、土曜日夜には提灯を灯した山車が進行する宵の山車揃を実施
 - ・なごや麺まつり&酒フェスタなどのグルメイベントや、ご当地武将隊・ご当地アイドルによるステージ、地元ゆかりのアーティストのライブなどの会場行事を実施
 - ・金曜日から会場行事を一部実施
- 【人出】224万人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成25年(第59回)名古屋まつり

日 程 平成25年10月19日(土)・20日(日)を中心に実施
 来場者数 98万人



●平成26年(第60回)名古屋まつり

日 程 平成26年10月17日(金)・18日(土)・19日(日)を中心に実施
 来場者数 224万人



評価軸③-39

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目

現在の状況

山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 昭和47年度～

支援事業名 市単独事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業・愛知県文化財保存事業費、文化財保存事業費国庫補助

計画に記載している内容 指定文化財である地域の民俗芸能・伝統行事の継承等について補助するとともに、文化財公開活用事業を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内の無形文化財や民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調および練習等に係る補助を行うことで、民俗芸能・伝統文化の継承や後継者の育成を行うことができた。
 ・わくわく文化財普及事業では、平成25・26年度の二年間で市内9箇所公共施設(図書館、区役所等)に、地元から出土した遺物等を展示することで、普段博物館等に行く機会のない方々にも文化財を身近に感じていただくことができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



有松祭りで曳かれる神功皇后車の輪掛けの修復[平成25年度](左2枚:修理前、右:修理後)



わくわく文化財事業[平成26年]において、中区役所で展示した名古屋城三の丸「徳川将軍家御霊屋の龍と御紋の瓦」

評価軸③-40

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
伝統産業若手育成事業助成	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成5年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「伝統産業若手技術者育成事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に所属する市内企業に対し補助金を交付した。(名古屋伝統産業協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合12業種11団体により設立)

- ・平成25年度補助金交付件数: 7件
- ・平成26年度補助金交付件数: 6件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



名古屋友禅(型友禅)



名古屋友禅(手描友禅)



名古屋黒紋付染



名古屋仏壇



名古屋桐箆筒



名古屋扇子



名古屋提灯

評価軸③-41

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
伝統産業新商品開発事業助成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成5年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業製品の新たな需要開拓を図るため、市内伝統産業の業界団体が行う現代感覚にあった新商品開発事業に対して補助金の交付を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「伝統産業新商品開発事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(名古屋伝統産業協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合12業種11団体により設立)

- ・平成25年度補助金交付件数:2件
- ・平成26年度補助金交付件数:2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- ・補助金交付団体名
名古屋仏壇商工協同組合
- ・新商品名
「名古屋仏壇20号御坊造り」
- ・商品説明
基本的な部分は昔ながらの形状を踏襲し、部分的に部品点数を減らすことにより、日々の生活において飾りやすく親しみのある仏壇



名古屋仏壇商工協同組合「名古屋仏壇20号御坊造り」

- ・補助金交付団体名
名古屋提灯製造組合
- ・新商品名
「デザイン透映ちようちん」
- ・商品説明
提灯本体は無地で、内部のフィルムにデザインをプリントし、光源のLEDを使って提灯に透映させた提灯



名古屋提灯製造組合「デザイン透映ちようちん」

評価軸③-42

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
伝統産業製品PR事業助成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成14年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業製品に対する需要を喚起するため、広く消費者に伝統産業製品のPRをするイベントの出展経費及びPRのための冊子・パンフレット等を作成する経費等に対して補助金の交付を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「伝統産業製品PR事業補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(名古屋伝統産業協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合12業種11団体により設立)
 ・平成25年度補助金交付件数:2件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:1件)
 ・平成26年度補助金交付件数:3件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:2件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- ・補助金交付団体名
名古屋生菓子工業協同組合
- ・出展した展示会
第26回全国菓子大博覧会・広島
- ・出品名
「甲冑 織田信長公」
(文部科学大臣表彰受賞)



「甲冑 織田信長公」



「第26回全国菓子大博覧会・広島」リーフレット

- ・補助金交付団体名
名古屋提灯製造組合
- ・冊子作成部数、規格
3,000部、A5版 8頁



表紙

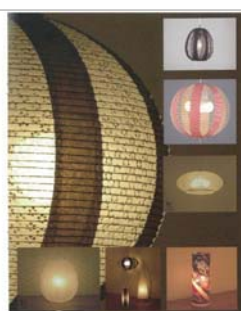


2頁

3頁



4頁



5頁



6頁



7頁



裏表紙

評価軸③-43

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度及び26年度

項目

現在の状況

名古屋市民芸術祭

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成2年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 総合的な市民文化芸術の祭典として、毎年、10月・11月の2ヶ月間にわたって、主催事業とコンテスト方式の参加公演事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

主催事業のうちのいけばな芸術展では、この地域のいけばな作家が流派を超えて季節の花を発表。
 (出品数:244点 入場者:㉔9,348人 ㉔10,493人)
 また、参加公演事業では、伝統芸能などの4部門で参加を募り、部門ごとに市民芸術祭賞・市民芸術祭特別賞を授与した。
 (伝統芸能部門 参加公演数:㉔㉔4公演 市民芸術祭賞:㉔該当なし ㉔1公演 市民芸術祭特別賞:㉔1公演 ㉔1公演)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●いけばな芸術展

会 期:平成25年度 10月29日(火)～11月3日(日)
 平成26年度 10月28日(火)～11月2日(日)
 会 場:名古屋市民ギャラリー栄 第6～11展示室
 出品流派:池坊、石田流、小原流、嵯峨御流、真生流、草月流、
 日本生花司松月堂古流、オール愛知華道連盟、
 名古屋華道文化連盟、名古屋市各区いけばな団体連合会



いけばな芸術展
ポスター

●参加公演事業(伝統芸能部門)

平成26年度(参加公演数 4公演)
 ・市民芸術祭賞 該当なし
 ・市民芸術祭特別賞 「園美の会舞踊公演一部 第四回桜美の会」
 (奨励賞)



第四回桜美の会

平成25年度(参加公演数 4公演)
 ・市民芸術祭賞 「ふたり華 鯉之巫・鯉娘 舞踊リサイタル」
 ・市民芸術祭特別賞 「箏曲正弦社 野村正峰作品展」
 (企画賞)



鯉之巫・鯉娘舞踊リサイタル



野村正峰作品展

評価軸③-44

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目	現在の状況	
なごや子どものための巡回劇場	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和55年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 次代を担う子どもたちを対象に、伝統芸能・人形劇・児童劇・交響楽・バレエなどを身近な生活圏において、低料金で楽しんでもらうため、文化小劇場や区役所講堂・ホールを会場に、各区を巡回して公演を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

子どもたちを対象とする伝統芸能の公演として、狂言の公演を実施。(入場者:②6554人 ②5767人)
 次代を担う子供たちに、名古屋の伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 平成26年度
 狂言共同社「狂言がやってきた！」
 8月19日(火) 中村文化小劇場
 8月20日(水) 守山文化小劇場
 (各日2回公演)

- 平成25年度
 狂言共同社「狂言がやってきた！」
 8月20日(火) 名東文化小劇場
 8月21日(水) 南文化小劇場
 (各日2回公演)

※入場料は大人・子どもとも700円



26年度公演チラシ(表)



26年度公演チラシ(裏)



26年度公演の様子



26年度公演の様子



26年度公演の様子

評価軸③-45 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成25年度及び26年度

項目	現在の状況
名古屋市芸術文化団体活動助成	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和48年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統芸能の活動団体など、市内を活動の基盤とする芸術文化団体の日常活動の成果発表事業の経費の一部を助成することにより、市民の芸術文化活動の振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統芸能分野については、25年度は申請がなく、26年度についても交付実績はなし。(26年度は1件申請があったが、交付条件を満たさず不交付決定した)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

伝統芸能の分野については、毎年申請が少ない状況にある。補助年限が決まっているため、長く活動している団体は既に交付年限が切れてしまっていることが多いことや、伝統芸能の分野で新興団体が少ないことが理由として考えられるが、出来るだけ多くの団体に活用していただけるよう、今後もより効果的な周知方法を検討していく。

状況を示す写真や資料等

○補助対象となる団体
音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・美術・映画等の芸術文化の領域において、組織的、継続的に創造・鑑賞及び研究活動を行い、当該年度の4月1日現在で、創立3年以上を経過し、その間1回以上名古屋市内での自主文化活動実績がある団体

○補助対象となる事業
当該年度の4月1日から3月31日までに実施される(全事業が完了するもの)、広く市民を対象にした市内公開事業、政令指定都市等で実施する事業で、営利を目的としないもののうち、下記表の左欄に該当するもの

○補助対象とならない事業
①政治的または宗教的な事業 ②稽古ごと・習いごと等のおさらい会や発表会 ③チャリティー事業 ④名古屋市から助成金を得て実施される事業 ⑤文化芸術団体以外との共催事業 ⑥名古屋市外の会場で行う事業など

補助対象となる事業	補助金の額
1 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台関係の創造団体が、構成員自らの出演による舞台公演を市内の会場で行う場合	会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とします。
2 絵画・書・彫塑・工芸・写真等の美術創造団体が、構成員自らの作品を市内の会場で発表する展覧会	会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、15万円を限度とします。
3 映画を自分たちで創る団体が自らの作品を市内の会場で発表する上映会	
4 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台芸術及び映画の鑑賞団体が、構成員自らの自主性に基づく企画で市内の会場を使用して行う鑑賞会	会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とします。
5 芸術文化団体が政令指定都市または東京都特別区で実施する上記1～3の事業(他都市事業)で、その前後6月以内に、事業の事前周知又は成果の発表のために行う同種の市内事業を伴うもの(都市交流事業)	上記1は会場使用料の2分の1以内の額。2、3は会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、他都市事業及び市内事業それぞれが15万円を限度とします。

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

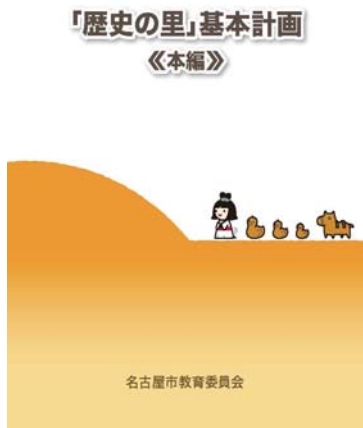
計画に記載している内容 重点区域内に残る市指定文化財の山車などの保存及び活用を引き続き支援していく。また、志段味地区を重点的に施策を展開し、主要な古墳については、史跡指定を検討し、保存を担保するとともに、基本計画の策定を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成25年度 「歴史の里」基本計画策定
- ・平成26年度 10月6日 志段味古墳群史跡指定(史跡白鳥塚古墳に尾張戸神社古墳・中社古墳・南社古墳・志段味大塚古墳・勝手塚古墳・東谷山]白鳥古墳の6古墳が追加指定され、志段味古墳群に名称変更)
- 「歴史の里」実施設計
- 史跡志段味古墳群保存管理計画策定
- ・市内の無形文化財や民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調および練習等に係る補助を行うことで、民俗芸能・伝統文化の継承や後継者の育成を行うことができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

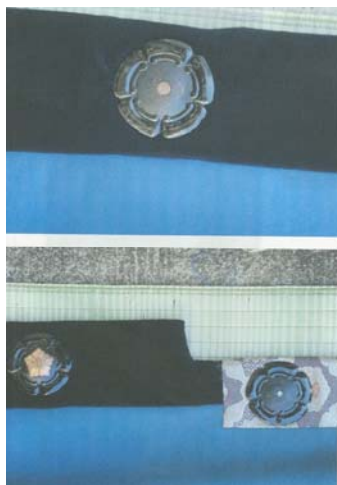
状況を示す写真や資料等



「歴史の里」基本計画《本編》表紙



志段味古墳群分布



東区筒井町天王祭で曳かれる神皇車の幕金具の修理 [平成25年度]

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度及び26年度
文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容
 ・「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)
 ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

評価軸③-11、21参照(P13、P23)

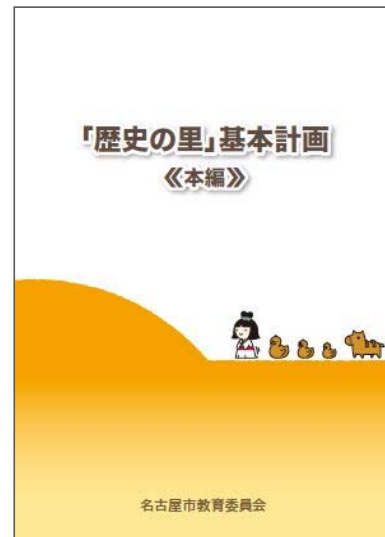
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)
 評価軸③-11、21参照

実施設計検討会議開催状況
 第1回 平成26年8月11日
 第2回 平成26年9月17日
 第3回 平成26年11月13日
 第4回 平成27年3月13日

保存管理計画検討会議開催状況
 第1回 平成26年8月11日
 第2回 平成26年10月16日
 第3回 平成26年11月13日



「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)
 評価軸③-1参照

「歴史の里」基本計画(平成26年3月)



上図「志段味古墳群散策路マップ」を作成し、東西エリア計2コースを設定した。

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25年度及び26年度
項目		現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) ・文化財防火デー等の防災訓練の取組 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	指定文化財に設置された消防設備の確認や防火訓練、志段味地区の古墳の安全管理施設の整備等、文化財パトロール員の巡視等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定文化財建造物の施設・所有者の内、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて16施設を抽出し、市消防署及び自衛消防団と協力・連携して消防施設の査察及び防災訓練を実施している。 市文化財パトロール員を活用し、志段味地区の古墳を含めた市内に存する文化財を定期時に巡視し、災害等の報告を受けた場合は直ぐに対応して文化財の保護・管理に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		指定文化財建造物の件数が非常に多い一方、職員数が少ないため、消防施設の査察や消防訓練の視察が実施しづらいが、順次、ローテーションを図りながら巡視を継続していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

防災訓練の実施



古墳安全管理施設



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度及び26年度
		現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援(保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)
 ・「歴史の里」整備事業(公開活用事業)
 ・山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

評価軸③-21、28、39参照(P23、P30、P41)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

評価軸③-21、28、39参照



有松祭りで見られる神功皇后車の輪掛けの修復[平成25年度](左2枚:修理前、右:修理後)



わくわく文化財事業[平成26年]において、中区役所で展示した名古屋城三の



上図「志段味古墳群散策路マップ」を作成し、東西エリア計2コースを設定した。

評価対象年度	平成25年度及び26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会	
会議等の開催日時：平成27年5月27日	
(コメントの概要)	
<p>○ 進捗評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進捗評価シートを見るだけでも事業の内容や実績が伝わるように、もっと工夫する必要がある。 ・ 長期的かつ大きな事業については、全体の中で対象年度にどこまで進んでいるのか、わかりにくくなってしまっている。もう少し短い期間や細かい取り組みで区切り説明すると、進捗状況がつかみやすくなるのではないか。 <p>○ 計画の内容等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画や個々の事業について、市民にもっとPRしていくことが重要。 ・ 施設や案内板整備とともに、ガイドボランティアの養成や地域イベントとの連携など、市民参加も進めてほしい。 ・ 啓発イベントについては、「食」をテーマにする等、当時の生活を追体験できるような企画を盛り込んでどうか。 ・ 歴史的資源を活かした観光が注目される中で、観光部局も含め、庁内の情報共有を綿密にしていくべき。 	
(今後の対応方針)	
<p>○ 進捗評価シートの記載については、法定協議会での意見を参考に、市民にとっても見やすく、伝わりやすくなるよう努める。また総括評価を見据え、各事業の進捗状況がよりわかりやすくなるよう、評価方法等について検討していく。</p> <p>○ 計画や事業のPR、市民参加について、より一層取り組んでいく。また、庁内での連携も積極的に進めていく。</p>	